

DVD AUDIO/VIDEO プレーヤー

NATURAL SOUND DVD AUDIO/VIDEO PLAYER

DVD-S840



取扱説明書

このたびはヤマハ DVD プレーヤー DVD-S840 をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

■本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。

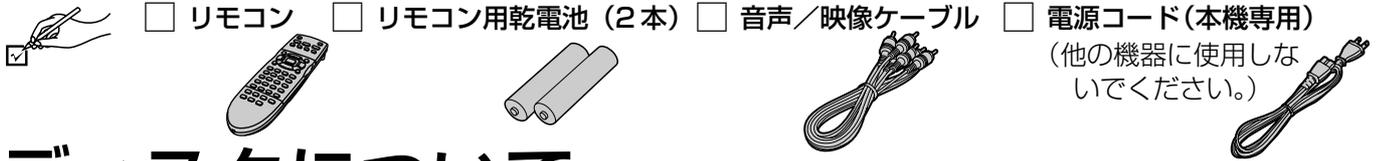
お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。

■保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

付属品のご確認

付属品がすべてそろっているか、確認してください。



ディスクについて

再生できるディスク DVD-Aなどは、本書内の表示です。

名称	ロゴマーク	詳細
DVDオーディオ (DVD-A)		—
DVDビデオ (DVD-V)		リージョン番号「2」(または「2」を含むもの) 例) と「ALL」が表示されたディスク
DVD+RW/R (DVD-V)		「DVDビデオ」として再生できます。 DVDビデオレコーダー(ビデオフォーマット)で録画し、ファイナライズ(再生対応機器で再生できるよう処理すること)したDVD-Rを「DVDビデオ」として再生できます。
DVD-R/RW (DVD-V)		●記録方法(PC環境やソフトウェアなど)やディスクの状態(傷やそりがあるなど)によっては再生できない場合があります。
ビデオCD (VCD)		CD-RとCD-RWを含む ●CD-DA、ビデオCD、WMA、MP3のいずれかのフォーマットで記録し、記録終了時にセッションクローズまたはファイナライズした音楽用CD-R/RW
CD(Compact Disc) (WMA) (MP3)		

お願い

上記ロゴマークの入ったものなど、それぞれの規格に合致したディスクをご使用ください。それ以外のディスクは、本機の故障やディスクの破損の原因となりますので使用しないでください。

お知らせ

- 本機はPALとNTSCの両システムを再生することができますが、お使いのテレビが再生ディスクのシステムに対応している必要があります。
- PALディスクはNTSCのテレビでは正しく再生されません。
- PALディスクを再生した時、走査線の出力は自動的に576iとなります。
- PAL方式で記録されたDVDオーディオの静止画は、NTSCに変換して再生します。映像を縮小して全体を表示しますが、上下に引き伸ばされた画面になることがあります。
- 経過時間が表示されないディスクや、メニュー画面を持ったビデオCDの場合、機能が働かない場合があります。
- DVDオーディオ、DVDビデオ、DVDビデオCDの中には、ディスク側の制約により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。
- DVD+RW/R、DVD-R/RW、CD-R/RWは、使用するディスクや記録状態により再生できない場合があります。

■取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをご守りください。

- 再生面には手を触れない。
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- 紙やシール、ラベルを貼らない。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない。(☞右記)
- 市販のラベルプリンターで表面に印刷したディスクは使わない。
- ハート型など、特殊形状のディスクは使わない。



ジャケット上のマーク

イラストは例です。

- 画面サイズ (横：縦)

標準(4:3) サイズ レターボックス サイズ 4:3で上下に黒帯が入った画面

ワイド(16:9) サイズ 標準(4:3)サイズのテレビではレターボックスで再生
 ワイド(16:9) サイズ 標準(4:3)サイズのテレビではパン&スキャン(両側または片側が切れた画面)で再生

- 記録されている音声の種類

本機はドルビーデジタル/DTSの5.1チャンネルデコーダーを内蔵しているため、左記ロゴのついたディスクを再生できます。

- その他

音声数 字幕数 アングル数

再生できないディスク

- リージョン番号「2」「ALL」以外のDVDビデオ
- DVD-ROM ●DVD-RAM ●CD-ROM ●CDV
- CD-G ●CVD ●SVCD ●SACD
- Divx Video Discs ●Photo CD など

もくじ

まず
準備しよう

付属品のご確認／ディスクについて	2
安全上のご注意 必ずお守りください	4
リモコンの準備	5
他の機器と接続する	6
テレビに合わせて設定する	8
各部のなまえとはたらき	9

すぐ
使ってみる

ディスクを再生する	10
●メニュー画面が表示されたら	10
●記憶させた位置から再生する（ポジションメモリー機能）	11
●場面・曲を番号指定で再生する	11
●場面・曲を飛びこす（スキップ）	11
●早送り・早戻しする（サーチ）	11
●スロー再生する	11
●コマ送り・コマ戻しする	11
●WMA/MP3/CD テキストをメニュー画面で再生する	12

もっと
使いこなす

映画や音楽をもっと楽しむ	14
●映画鑑賞向きの画質にする（シネマ）	14
●映画のセリフを聞き取りやすくする （ダイアログエンハンサー）	14
●2本のスピーカーでサラウンド効果を楽しむ （アドバンスドサラウンド VSS）	14
●音声を切り換える	15
●アングルを切り換える	15
●字幕を切り換える	15
●映像を拡大する（4：3ズーム）	15
便利な機能	16
●グループを選んで再生する	16
●静止画を選ぶ（ページスキップ）	16
●音楽を純粋に楽しむ（ビデオオフ）	16
●好みの2点間を繰り返し再生する（A-Bリピート再生）	16
●繰り返し再生する（リピート再生）	17
●順不同に再生する（ランダム再生）	17
●好みの順に再生する（プログラム再生）	17
絵表示（GUI画面）を使って操作する	18
●ディスク情報	18
●本機情報	19
初期設定を変更する	20
●スピーカー設定	22
言語番号一覧表	23

もし
必要なとき

お手入れ・使用上のお願い	23
主な仕様	24
用語解説	24
著作権	25
Q & A（よくあるご質問）	25
故障かな！？	26
ヤマハホットライン サービスネットワーク	（裏表紙）

まず

すぐ

もっと

もし

もくじ

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

電源コードについて

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。



- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは、プラグを持ちまっすぐぬいてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

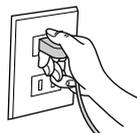
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



- 感電の原因になります。

ぬれ手禁止

電源プラグは根元まで確実に差し込む



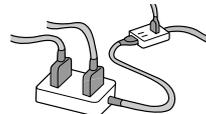
- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない



- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

もし異常が起これたら

異常があったときは電源プラグを抜く



- 機器内部に金属や水、異物が入ったとき
 - 煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき
- 電源プラグを抜く

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない



- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造をしない



分解禁止

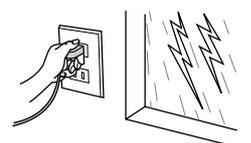
- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

雷について

雷が鳴ったら、機器や電源プラグに触れない



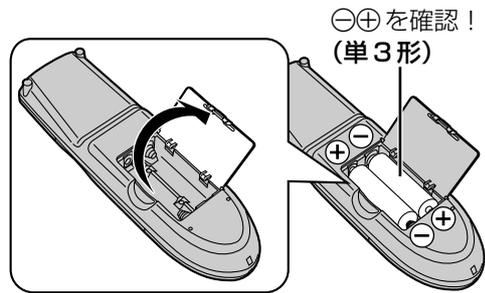
接触禁止



- 感電の恐れがあります。

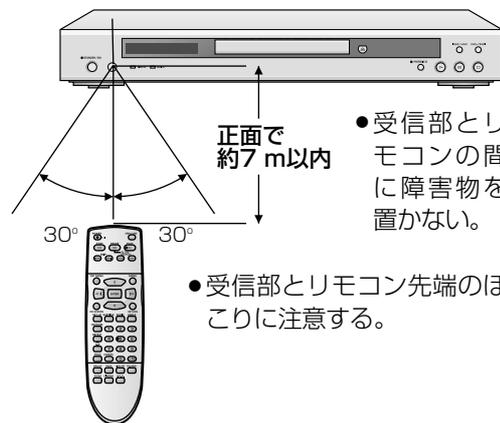
リモコンの準備

乾電池(付属)を入れる



⊖側に押しながら入れる

リモコンの使用範囲



お願い

- 受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 他の機器のリモコンと同時に使わない。

本体をラックに入れて使用するときは

ガラス扉の厚さや色などによって、使用範囲が短くなる場合があります。

注意 ⚠

設置・接続について

不安定な場所に設置しない



- 上に大きなもの、重いものを載せない
- 高い場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない



- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない



- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

ご使用について

コードを接続した状態で移動しない



- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

ディスクトレイに指を入れ、挟まれないように注意する



指に注意

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

乾電池について

乾電池は誤った使いかたをしない



- ⊕と⊖は逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない
- 乾電池は充電しない
- 加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない
- ネックレスなどの金属物といっしょにしない
(乾電池入りの乾電池ケースも同様です。)
- 被覆のはがれた電池は使わない
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない

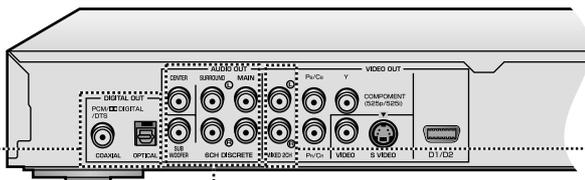
- 長期間使用しないときは、取り出しておいてください。
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が目や口に入ったり、皮膚についたときは、水でよく洗い流し、医師に相談してください。

他の機器と接続する

お願い

- 電源コードは抜いてください。(電源コードは最後に接続します。)
- 「付属」以外のケーブルは別売です。
- 以下で説明する接続は一例です。実際に接続する機器の説明書もよくお読みください。

音声入力端子との接続

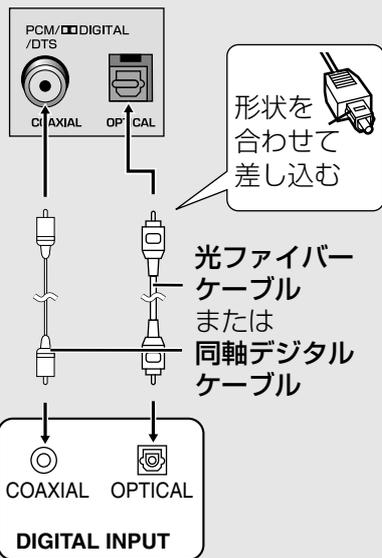


A デジタル音声出力端子

市販のデジタルケーブルを使って、AV アンプのデジタル音声入力端子に接続します。

ドルビーデジタルやDTSのマルチチャンネルで記録されたDVDを再生すると、映画館やホールにいるような臨場感と迫力のあるサラウンド音声をご家庭で楽しめます。

- 音声の設定が必要です。(21ページ)
- 光ファイバーケーブルは、急な角度で折り曲げないでください。
- お使いの機器に合わせて、どちらか片方のケーブルをご使用ください。



AVアンプ

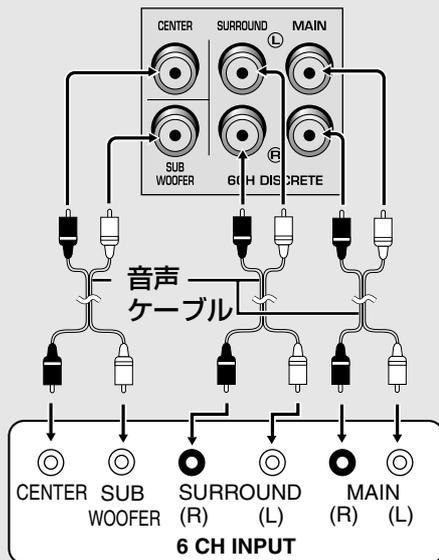
スピーカー

B 音声出力端子 (6CH)

音声ケーブルを使って、AV アンプの6CH 音声入力端子に接続します。

DVD オーディオなど、マルチチャンネルのニア PCM 音声を楽しむことができます。また、ドルビーデジタルやDTSの音声で、高いサンプリング周波数の音声も楽しめます。

- 音声の設定が必要です。(21、22ページ)

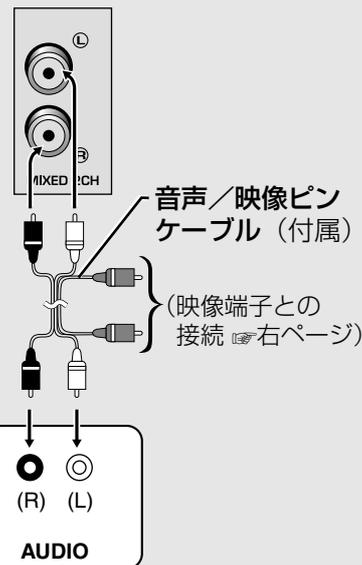


AVアンプ

スピーカー

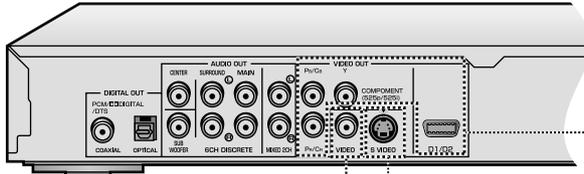
C 音声出力端子(MIX 2CH)

付属の音声/映像ピンケーブルを使って、AV アンプの2CH 音声入力端子に接続します。



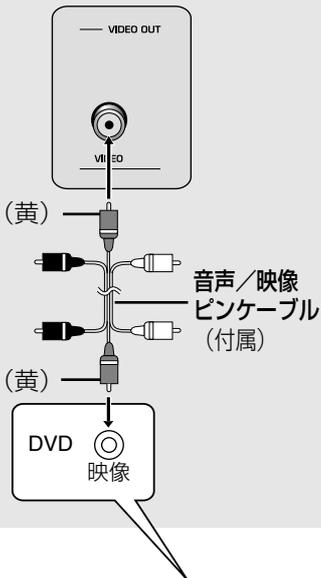
映像入力端子との接続

下記の映像出力端子を使って、いずれかの接続をしてください。



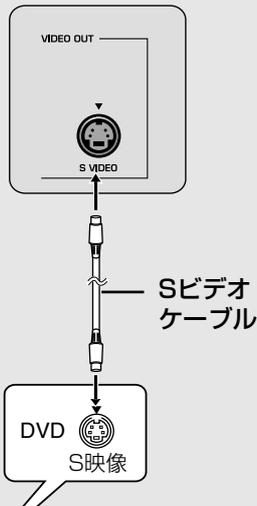
D 映像出力端子

一般的な映像信号を出力します。AV アンプの映像入力端子に接続すると、音声と映像信号の入力切り替えが AV アンプひとつでおこなえます。



E S 映像出力端子

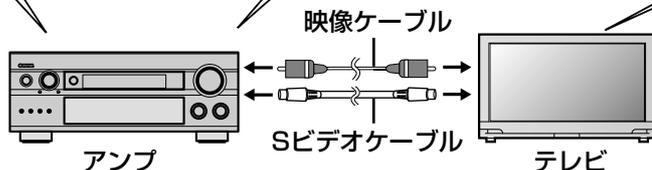
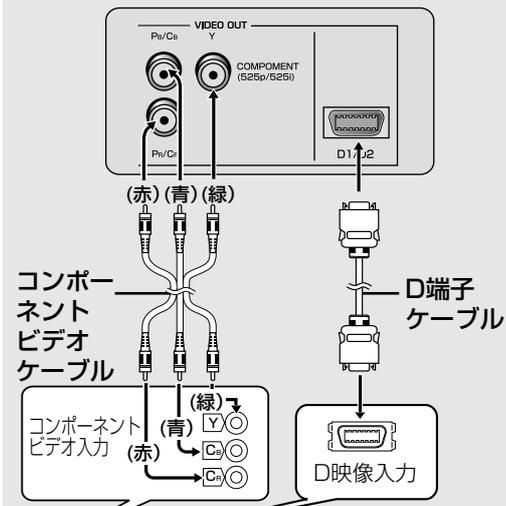
市販の S ビデオケーブルを使って、テレビの S 映像入力端子に接続します。映像情報を輝度 (Y) 信号とカラー (C) 信号に分離してテレビに伝えるため、映像出力端子に接続した場合よりも鮮明な画像を得られます。S 映像入力端子と出力端子を持つ AV アンプに接続すると、音声と映像信号の入力切り替えが AV アンプひとつでおこなえます。



F コンポーネントビデオ出力端子および D1/D2 映像出力端子

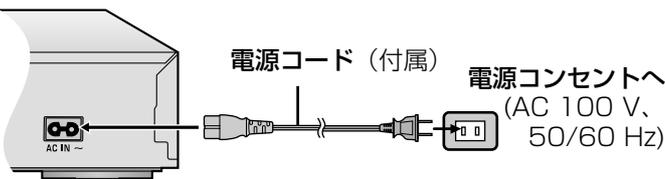
プログレッシブ映像を楽しめます。市販の D 端子ケーブルまたはコンポーネントビデオケーブルを使って、テレビと接続します。輝度 (Y) 信号とコンポーネント (C_B, C_R) 信号に分けてテレビに伝えるため、S 映像よりも色を忠実に再現します。

- テレビによっては入力端子の表示が異なることがあります (Y, C_B, C_R や Y, B-Y, R-Y など)。この場合、同じ色の端子どうしを接続してください。
- ハイビジョンテレビに接続する場合は、DVD 対応のコンポーネントビデオ入力端子に接続してください。ハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ入力端子に接続すると、映像方式が異なるため、画面が乱れたり映らないことがあります。



- 映像をビデオテープレコーダー経由で出力しないでください。本機とテレビとの間にビデオテープレコーダーなどを接続すると、著作権保護の影響により、画面が乱れることがあります。
- テレビのスピーカーで音声を楽しむ場合は、テレビ側の各端子専用の音声入力端子に接続してください。

電源コードの接続



お願い

- 付属品以外の電源コードを使用しないでください。火災や電気ショックの原因になります。
- 接続がすべて終了し、電源コードを本機に差し込んだあと電源コンセントへ差し込んでください。

テレビに合わせて設定する

準備

接続した機器(テレビやアンプなど)の電源を入れ、入力を本機を接続した入力に切り換える。

1

電源を入れる

2

初期設定画面を表示する

お買い上げ後初めて [SET UP] を押すと、必要な設定を簡単に行える「クイックセットアップ」画面が表示されます。カーソルボタン [▲、▼] と [ENTER] で

- **「する」** を選ぶと画面上のガイドに従って設定することができます。くわしくは、画面の表示に従ってください。
- **「しない」** を選んだ場合は、手順3に進んでください。

「しない」を選んでも、再びガイドを表示させることもできます。(P21 ページ「クイックセットアップ」)

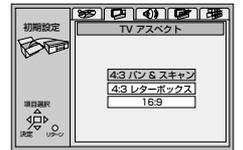
3

[◀、▶] で
“映像”  を選ぶ



4

[▲、▼] で
“TVアスペクト”
を選び
[ENTER] を押す



5

[▲、▼] で
TV画面の横縦比を選び
[ENTER] を押す

- **4 : 3 パン&スキャン** (お買い上げ時の設定)

標準 (4 : 3) サイズのテレビに
ワイドサイズのソフトをパン&
スキャンで映したいとき



- **4 : 3 レターボックス**

標準 (4 : 3) サイズのテレビに
ワイドサイズのソフトをレター
ボックスで映したいとき



- **16 : 9**

ワイドサイズのテレビ

必要に応じて、テレビ側の画面モードの設定も行ってください。

6

手順4、5の要領で
“プログレッシブ出力”
を設定する

“プログレッシブ出力”

– 不可 (お買い上げ時の設定) : プログレッシブに対応していないテレビ

– 可能 : プログレッシブ対応テレビ

- さらに、本体の [PROGRESSIVE ON] を押すとプログレッシブ出力になります。(ただし本機の映像出力端子または S1 映像出力端子でテレビと接続したとき、および PAL ディスクを再生した時は、インターレース出力のままです。)

- “ディスク” の “音声言語” と “字幕言語”、 “音声” の “スピーカー設定” も同時に設定してください。

設定を
終了する

4 : 3 で記録された映像を、ワイドテレビ画面(16 : 9)でプログレッシブ再生するとき

本機では、プログレッシブ出力時、4 : 3 サイズの映像を左右に引きのばし、ワイドテレビ画面(16 : 9)いっぱいに表示します。

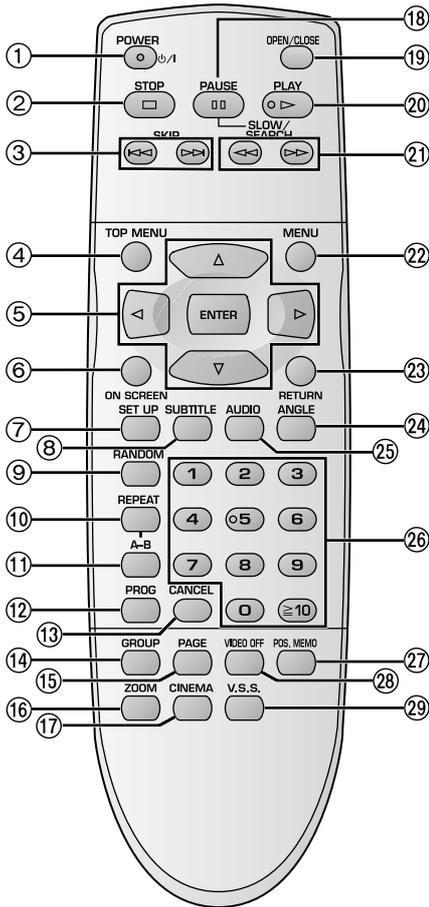
- テレビ側で映像の横縦比を変更できる場合は、テレビ側で正しい横縦比に設定してください。

- テレビ側で変更できない場合は、GUI画面の表示設定で「4:3アスペクト」を変更してください。(P19ページ)

各部のなまえとはたらき

本書では、リモコンを使った操作方法を中心に説明していますが、本体のボタンを使っても操作できる機能があります。

リモコン

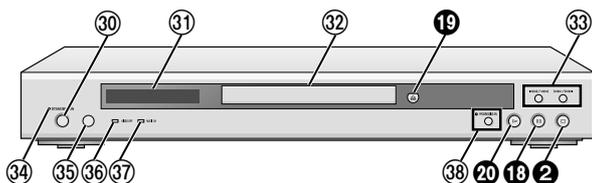


※カッコ内の数字は参照ページです。

- ① [POWER]ボタン (8)
- ② [■、STOP]ボタン (10) : 再生を止める
- ③ [◀◀、▶▶、SKIP]ボタン (11) : 映像や音楽を頭出しする
- ④ [TOP MENU]ボタン (10、12) : ディスクのメニュー画面を表示する
- ⑤ [▲、▼、◀、▶]カーソルボタン/[ENTER]ボタン (8)
- ⑥ [ON SCREEN]ボタン (18) : GUI画面を表示する
- ⑦ [SET UP]ボタン (8、20) : 初期設定画面を表示する
- ⑧ [SUBTITLE]ボタン (15) : 字幕言語を切り換える
- ⑨ [RANDOM]ボタン (17) : ランダム再生をする
- ⑩ [REPEAT]ボタン (17) : 繰り返し再生をする
- ⑪ [A-B]リピートボタン (16) : 好みの2点間を繰り返し再生をする
- ⑫ [PROG]ボタン (17) : プログラム再生をする
- ⑬ [CANCEL]ボタン (16) : 入力した数字を取り消す
- ⑭ [GROUP]ボタン (16) : グループを選ぶ
- ⑮ [PAGE]ボタン (16) : 静止画を選ぶ
- ⑯ [ZOOM]ボタン (15) : 映像を拡大する
- ⑰ [CINEMA]ボタン (14) : 映画鑑賞向きの画質にする
- ⑱ [■、PAUSE]ボタン (10) : 一時停止する
- ⑲ [OPEN/CLOSE]ボタン (10) : トレイを開閉する
- ⑳ [▶、PLAY]ボタン (10) : 再生をする
- ㉑ [◀◀、▶▶、SLOW/SEARCH]ボタン (11) : 早送り/早戻しする
- ㉒ [MENU]ボタン (10、12) : ディスクのメニュー画面を表示する
- ㉓ [RETURN]ボタン (8) : メニュー画面に戻る
- ㉔ [ANGLE]ボタン (15) : アンクルを切り換える
- ㉕ [AUDIO]ボタン (15) : ディスクの音声を切り換える
- ㉖ 数字ボタン (11)
- ㉗ [POS. MEMO]ボタン (11) : 記憶した位置から再生させる
- ㉘ [VIDEO OFF]ボタン (16) : 映像を遮断する
- ㉙ [V.S.S.]ボタン (14) : サラウンドを切り換える

本体

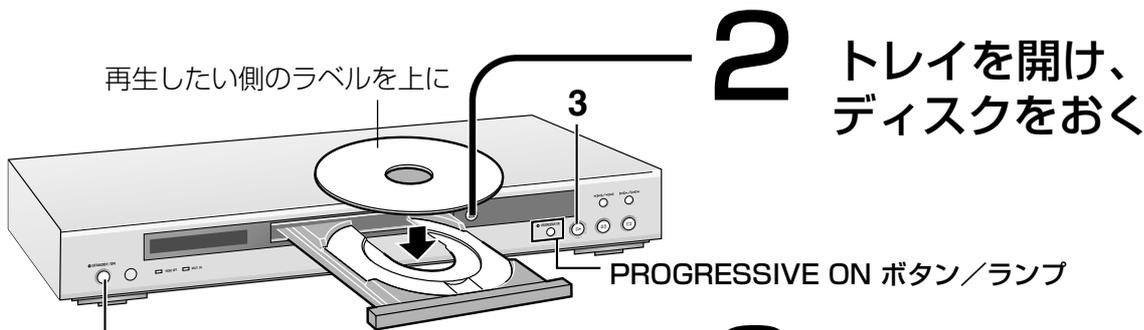
②などの白抜き数字のボタンは、リモコンのボタンと同じはたらきをします。



- ⑳ [STANDBY/ON]スイッチ (10)
- ㉑ 表示窓
- ㉒ トレイ (10)
- ㉓ スキップ/スロー/サーチ[◀◀/◀、▶/▶▶]ボタン (11)
- ㉔ スタンバイランプ
- ㉕ リモコン受信部
- ㉖ [VIDEO OFF]ランプ (16)
- ㉗ [MULTI CH]ランプ (15)
- ㉘ [PROGRESSIVE ON]ボタン/ランプ (10) : プログレッシブ出力を入/切する

ディスクを再生する

準備 接続した機器(テレビやアンプなど)の電源を入れ、入力を本機を接続した入力に切り換える。



1 電源を入れる

プログレッシブ出力にするには本体の[PROGRESSIVE ON]ボタンを押してランプを点灯させる

一時停止する [▶] (再生) で通常再生

停止する

表示窓の「▶」点滅中、[▶] (再生) を押すと、止めた位置から再生が始まります。(続き再生メモリー機能)

DVD-V

続けて [▶] (再生) を押すと、各チャプターの冒頭を再生できます。(11 ページ「あらすじリプレイ」)

2 トレイを開け、ディスクをおく

3 再生を始める

メニュー画面が表示されたら

DVD-A DVD-V VCD

[▲、▼、◀、▶]で項目を選び、[ENTER]を押す

- 数字ボタンで選べるディスクもあります。
- 2ケタ番号の入力

例) 25 ≧10 ▶ 2 ▶ 5

- メニュー画面に戻す

DVD-A DVD-V : [TOP MENU] (最初のメニュー画面)

DVD-V : [MENU] (メニュー画面)

VCD : [RETURN] (メニュー画面)

[▶▶], [▶▶/▶▶] (次のメニュー画面)

[◀◀], [◀◀/◀◀] (ひとつ前のメニュー画面)

お願い

メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本体のモーターの保護と、テレビ画面への画像の焼き付き等を防止するため、続けて再生しないときは[■]を押して再生を停止してください。

WMA MP3 CD (テキスト)

画面の下部にトラック 例) MP3/WMA

情報が表示されます。
([SUBTITLE]ボタン
で入/切できます。)

グループ: ミュージック集 2003
トラック: 真夏の恋
トラック名 グループ名

メニュー再生を使うと、より便利に操作できます。
(12 ページ)

DVD再生時は、テレビ放送に比べて音量が小さく感じられます。再生したときにテレビの音量を上げた場合は、テレビ放送に切り換える前に必ず元の音量に戻してください。突然大きな音が出ることがあります。

■節電のために

本機は電源を切った状態(スタンバイ状態)でも、約1.5Wの電力を消費しています。長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。

お知らせ

- “⊙” がテレビ画面に表示されたときはディスクまたは本機で禁止されているため、その操作はできません。
- 「プログレッシブ出力」が「不可」になっていると、プログレッシブ映像は出力できません。
- 映像や音声が出るまでに時間がかかることがありますが、本機の故障ではありません。
- 停止状態で30分経過すると、その時点で電源が切れます。(オートパワーオフ)

記憶させた位置から再生する (ポジションメモリー機能)

DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

再生中

リモコン



位置を記憶しました

続けて押すと上書きされます

電源を切る、またはディスクを取り出す

電源を入れる、または位置を記憶したディスクを入れる



前回記憶した位置から再生が始まります。
(この時点で記憶は消去されます。)

- ディスク5枚分まで記憶できます。6枚目以降は、一番古い記憶から順に消去されます。
- ディスクによっては機能が働かない場合があります。

あらすじリプレイ DVD-V (同一タイトル内のみ)

右の画面表示中に[▶] (再生) を押すと、記憶した位置までの各チャプターの冒頭を再生した後、その位置から再生が始まります。

再生ボタンを押すと、あらすじリプレイになります。

- 放置しておくと、画面表示が消え、記憶した位置から再生が始まります。

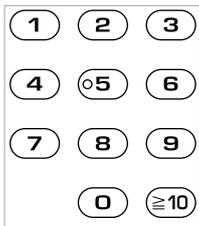
メモリー機能を解除する

表示窓の「▶」の点滅が消えるまで[■]を押す

場面・曲を番号指定で再生する

DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

リモコン



● 2ケタ番号の入力

例) 25 ⇒ 10 ⇒ 2 ⇒ 5

WMA MP3

2 ⇒ 5 ⇒ ENTER

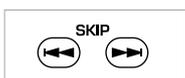
- 停止中でのみ働くディスクもあります。
- DVD-A 別グループの曲を再生するときは、まずグループを選んでください。(P.16 ページ)

場面・曲を飛びこす (スキップ)

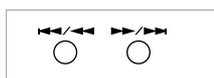
DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

再生中 / 一時停止中

リモコン



本体



- 押した回数だけ飛びこします。



早送り・早戻しする (サーチ)

DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

再生中

リモコン



本体



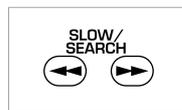
- 押すたびに、5段階で速くなります。
- [▶] (再生) で、通常再生に戻ります。
- 早送り時の音声を消すこともできます。(P.21 ページ「早送り時の音声」)

スロー再生する

DVD-A (動画部のみ) DVD-V VCD

一時停止中

リモコン



本体



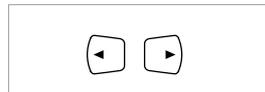
- 押すたびに、5段階で速くなります。
- [▶] (再生) で、通常再生に戻ります。
- VCD 戻り方向のスロー再生はできません。

コマ送り・コマ戻しする

DVD-A (動画部のみ) DVD-V VCD

一時停止中

リモコン



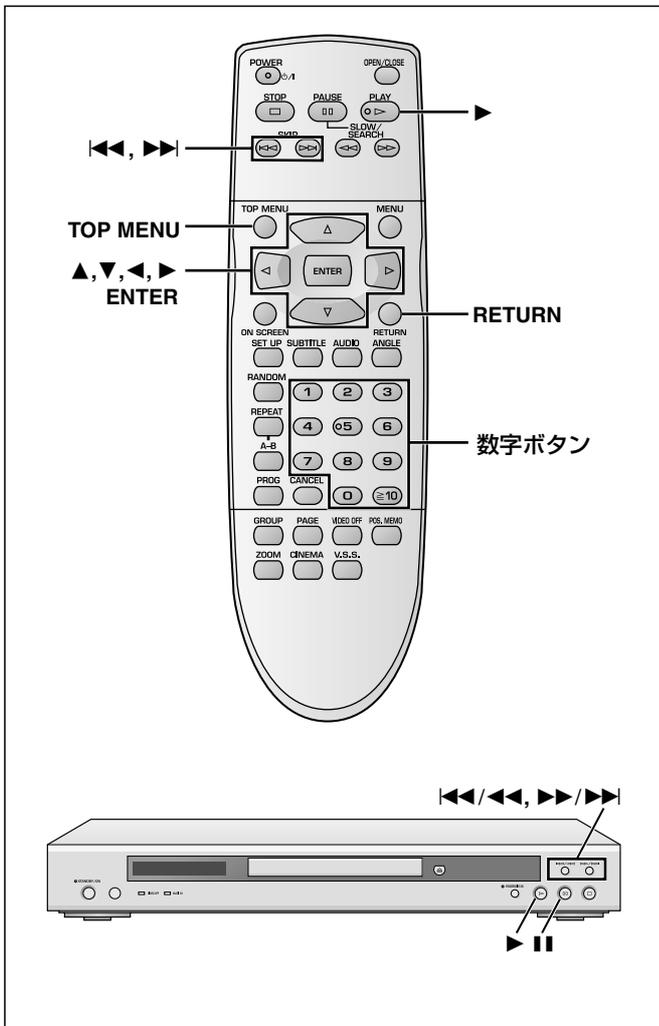
- 押し続けると、連続してコマ送り/コマ戻しします。
- [▶] (再生) で、通常再生に戻ります。
- [II] を押してもコマ送りできます。
- VCD コマ戻しできません。

プレイバックコントロール付きビデオ CD の再生について

再生中に、スキップやサーチ、スロー再生ボタンを押すと、メニュー画面が表示される場合があります。

すぐ

ディスクを再生する(つづき)



MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および THOMSON multimedia からライセンスを受けています。

Windows Media、Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。
WMA(Windows Media™ Audio) とは米国 Microsoft Corporation で開発された圧縮フォーマットです。これにより MP3 より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。



WMA/MP3/CD テキストをメニュー画面で再生する

WMA **MP3**
本機では、パソコンで CD-R/RW に記録した MP3 や WMA (Windows Media Audio) のファイルを再生できます。

CD (CD テキストのみ)
本機では、CD テキスト付きディスクのアルバムタイトル、アーティスト名、曲名が表示できます。

1 **リモコン** **メニュー画面を表示する**

例) MP3

2 **トラックを選び、再生する**

CD (CD テキストのみ) **WMA** **MP3**

ディスクの最後まで再生したあと、停止します。

■ 前後のページを表示する
[▲、▼、◀、▶] で “前ページ” または “次ページ” を選んで [ENTER] を押す

■ メニュー画面を消す
[TOP MENU] を押す

ディスクの全体図(ツリー画面)を見てグループを選ぶ

WMA **MP3**
1 メニュー画面表示中
トラックを選び、[▶] (カーソルボタン) を押す

例) MP3

本機に非対応の再生できないグループ

2 [▲、▼] でグループを選び [ENTER] を押す
選ばれたグループのメニューが表示されます。

• [◀、▶] でツリーの階層で選べます。

■ メニュー画面に戻る
[RETURN] を押す

曲情報を見る [CD] (CDテキストのみ)

メニュー画面表示中
トラックを選び、
[▶] (カーソルボタン)
を押す



- [◀、▶]で、他のトラックの曲情報が確認できます。
- [ENTER]を押すと再生されます。

■ **メニュー画面に戻る**

[RETURN] を押す

タイトル名を検索して再生

[CD] (CDテキストのみ) [WMA] [MP3]

ひらがな、カタカナ、英数字をローマ字入力で検索します。タイトルの初めの文字または、数数字の入力だけでも検索できます。(大/小文字は区別されません。)

例) 「うた」を含む曲を検索する

- 1 メニュー画面表示中
[▲、▼]で“検索”を選び[ENTER]を押す



- 2 [▲、▼]で“U”を選び[ENTER]を押す
[▲]を押すたびに、A → B → … → Z → 0 → 1 → … → 9

(数字は数字ボタンでも入力できます。)

- [◀◀、▶▶]で「A、E、I、O、U」にスキップします。
- 確定した文字を変更するには、[◀]を押し、文字を選び直します。
続けて、“T” “A” と入力します。

- 3 [▶] (カーソルボタン) で“検索”を選び、[ENTER]を押す

検索結果が画面に表示されます。

- 4 [▲、▼] で曲を選び、[ENTER]を押す

■ **入力した文字で始まるタイトルを検索する**

手順1のあと、[◀]で“*”を消してから入力する

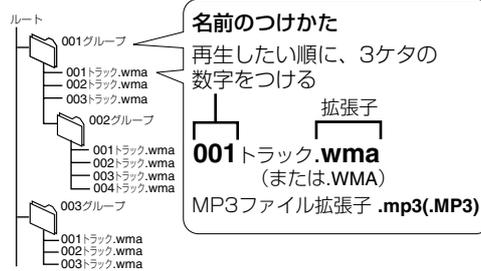
■ **ひとつ前の画面に戻る**

[RETURN] を押す

パソコンなどで本機に対応したファイルを作るには

[WMA] [MP3]

パソコンなどでフォルダやファイルに付けた名前をそれぞれグループ名、トラック名として表示します。



[CD] (CDテキストのみ)

市販のソフト等で作ったCDテキストは、タイトルの数字に関係なく作成したトラック順に再生します。(詳しくはソフトなどの説明書をご参照ください。)

- 8階層より深い階層にあるグループは、8階層目と同じ列に表示されます。
- 表示可能な漢字は、JIS第一水準のみです。それ以外の漢字は“_ (アンダーバー)”で表示されます。
- メニュー画面での表示順は、パソコンのディスプレイでの表示順と違うことがあります。
- ディスクの作り方によっては、順番通りに再生できないこともあります。

本機での制限

- 使用できるフォーマット: ISO9660 level 1 及び level 2 (拡張フォーマットを除く)
- マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いと、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。セッション数は少なくすることをおすすめします。
- 静止画データの入ったMP3/WMAのトラックを再生すると、曲が再生されるまでに時間がかかることがあります。その間の再生経過時間は表示されません。曲の再生が始まってから正確に時間が表示されないことがあります。

[WMA]

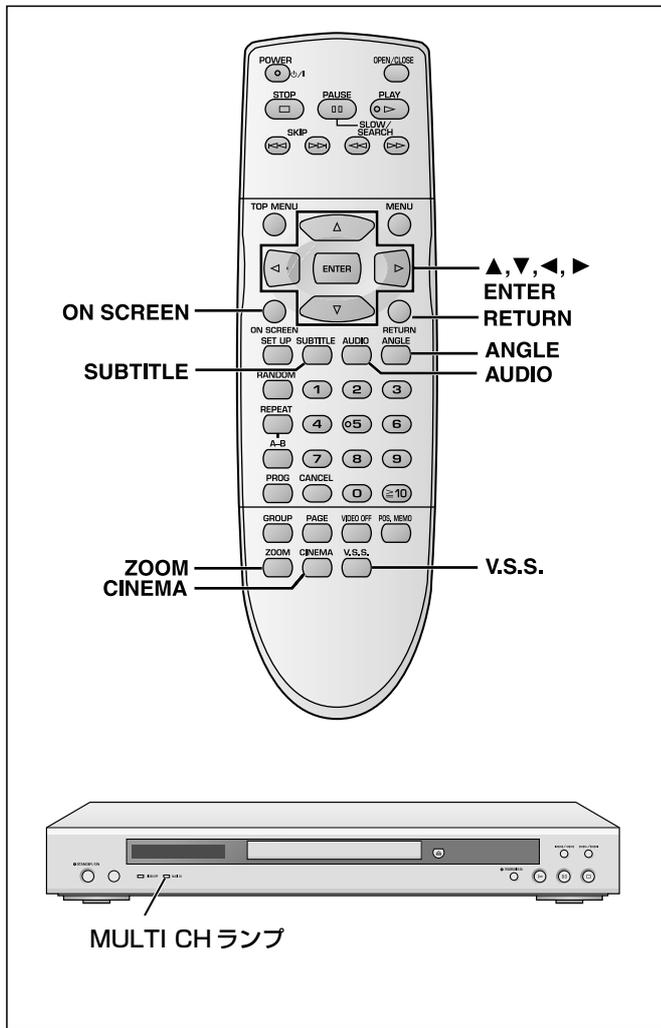
- 著作権保護されたファイルは再生できません。(表示窓に“TRACK PROTECTED”と表示されます。)
- 再生できないファイルを選んだときは、表示窓に“CANNOT PLAY”と表示されます。
- 再生中に雑音が発生する場合があります。

[MP3]

- ID3タグには対応していません。

すぐ

映画や音楽をもっと楽しむ



映画のセリフを聞き取りやすくする (ダイアログエンハンサー)

DVD-V (ドルビーデジタルまたは DTS のセンターチャンネルにセリフが入っているディスク)

リモコン

1 **本機情報画面 (19 ページ) を表示する**
くり返し押す

2 一番左端のアイコンが選ばれているとき [▲、▼] で **音声設定画面を選ぶ**



ダイアログエンハンサー

3 “ダイアログエンハンサー” を選ぶ

4 押すたびに **切 (工場出荷時設定) ←入**

お知らせ

- デジタル出力には働きません。
- 機能が全く働かない、または少ししか働かないディスクもあります。

2本のスピーカーでサラウンド効果を楽しむ (アドバンスドサラウンド VSS)

DVD-V VCD

SP-VSS : ドルビーデジタル、DTS、LPCM、MPEG の 2ch 以上のディスク

HP-VSS : ドルビーデジタル、LPCM、MPEG の 2ch 以上のディスク

音に広がりを与え、フロントスピーカー (SP-VSS) やヘッドホン (HP-VSS) だけでサラウンド効果を楽しめます。(HP-VSS を楽しむときは、ヘッドホン端子付の機器に接続してください。) サラウンド信号があるディスクの場合、音に広がりが出るほか、スピーカーの存在しない横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。

準備 接続した機器のサラウンド機能を「切」にする

リモコン

押すたびに
例) SP-VSS
SP 1 (標準) → SP 2 (強) → SP 切 (工場出荷時設定)

■ SP-VSS/HP-VSS を切り換える

1. [◀] を押し、“SP” または “HP” を選ぶ
2. [▲、▼] で切り換える



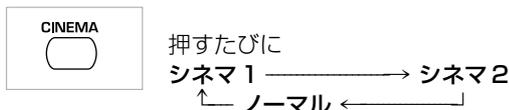
お知らせ

- 音声が入らない場合、「切」にしてください。
- 「入」時は、スピーカーを3本以上つないでいても、2チャンネルで出力されます。
- ドルビープロロジックを楽しむときは、正しいサラウンド効果を得るために「切」にしてください。
- 機能が全く働かない、または少ししか働かないディスクもあります。

映画鑑賞向きの画質にする (シネマ)

DVD-A DVD-V VCD

リモコン



シネマ 1 : 映画館で見ているようなしっとり感、さらに暗い場面では細部をはっきり

シネマ 2 : 昔の映画などをくっきり、さらに暗い場面では細部をはっきり

ノーマル : 通常の画質 (工場出荷時設定)

お知らせ

好みの画質に調整することもできます。(19 ページ「ユーザー画質」)

音声を切り換える

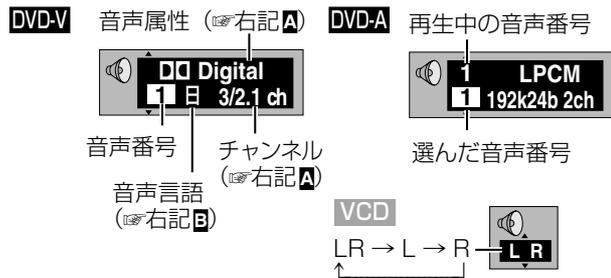
DVD-A DVD-V VCD

(音声が多音記録されているディスク)
再生中

リモコン



押すたびに切り換わります。



お知らせ

- “—”表示：音声が記録されていません。
- カラオケディスクでは、ボーカルの入/切ができます。(詳しくはディスクのジャケットなどもご参照ください。)
- マルチチャンネル信号の再生中は、本体のMULTI CHランプが点灯します。
- マルチチャンネル信号が2チャンネルにダウンミックス可能な場合、表示窓の“D.MIX”が点灯します。

DVD-A

- (静止画付トラックと音声のみのトラック) 音声が切り換わると、曲の先頭に戻ります。
- 2つ目の音声がなくとも、通常は選んだ音声番号を2まで表示します。(再生中の音声番号は1のみです。)

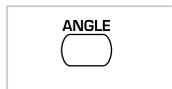
アングルを切り換える

DVD-A (動画部のみ) DVD-V

(アングルが多音記録されているディスク)

再生中

リモコン



押すたびに切り換わります。



字幕を切り換える

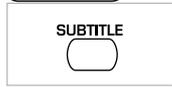
DVD-A (動画部のみ) DVD-V

(字幕が多音記録されているディスク)

字幕の変更と入/切ができます

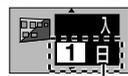
再生中

リモコン



押すたびに切り換わります。

例) DVD ビデオ



字幕言語 (右記B)

お知らせ

- “—”表示：字幕が記録されていません。
- 字幕の表示まで少し時間がかかることがあります。

字幕を入/切する

- 1 [SUBTITLE]を押す
- 2 [▶] (カーソルボタン)を押す
- 3 [▲、▼]で“入”“切”を選ぶ



音声/字幕/アングルについて

A 音声属性

LPCM / PPCM / Digital / DTS / MPEG : 信号タイプ
k : サンプリング周波数 b : ビット数 ch : チャンネル数

B 音声/字幕言語

日：日本語	伊：イタリア語	露：ロシア語
英：英語	西：スペイン語	韓：韓国語
仏：フランス語	蘭：オランダ語	*：その他
独：ドイツ語	中：中国語	

C チャンネル (ch) 表示について

GUI では以下のように示されます。



ロー・フリクエンシー・エフェクト
*Low Frequency Effects の略。低域強調チャンネルのこと。

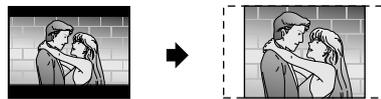
音声/字幕/アングル操作

- ディスクのメニュー画面でのみ切り換えができる場合もあります。(10 ページ)
- [RETURN] を押すと、画面表示が消えます。

映像を拡大する (4:3TVズーム)

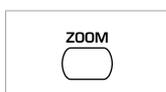
DVD-A DVD-V

標準(4:3)サイズのテレビで、ワイドサイズの映像がレターボックス再生されるとき、映像の中央部が拡大して、テレビ画面サイズに近付けることができます。ただし、左右の端が見えなくなります。

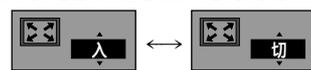


再生中

リモコン



押すたびに切り換わります。

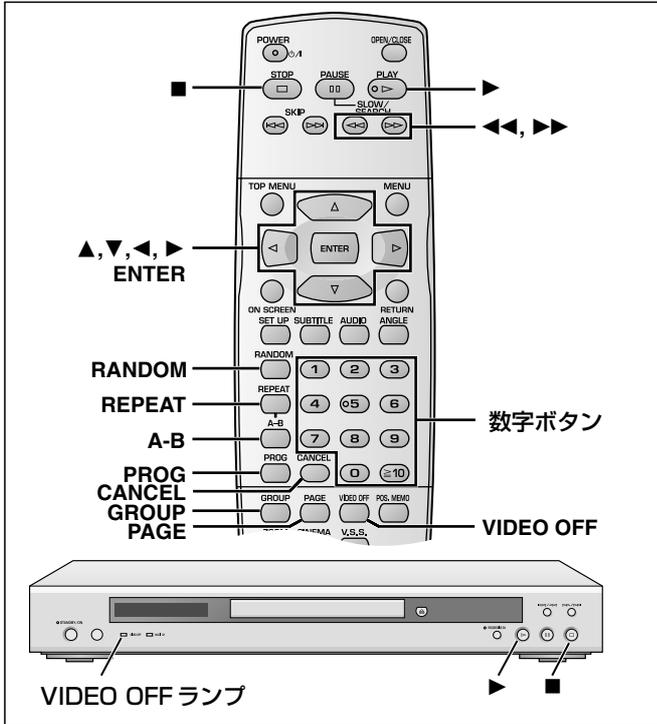


お知らせ

- ディスクによっては動かないことがあります。
- メニュー画面では動きません。
- ズーム再生中は、ディスクメニューを正しく操作・表示できないことがあります。
- 電源を切るかトレイを開けると、ズームは「切」になります。
- 「TVアスペクト」(8 ページ) が「16 : 9」の場合、ズーム機能は動きません。

もっと

便利な機能



グループを選んで再生する

DVD-A WMA MP3

DVD オーディオやMP3・WMA ディスクでは、ディスク内の曲がグループ単位で構成されています。これらグループの再生方法はディスクによって異なります。

1 例) MP3

グループ番号 | ディスク内のグループ内のトラック番号 / トラック番号 総トラック数

2 **グループ番号を選ぶ**

3 **トラック番号を選ぶ**

- 数字ボタンでも番号を選べます。
- 再生状態によっては、番号を選べないこともあります。
- **DVD-A** すべてのグループを再生する (※17ページ「オールグループ再生」)

ボーナスグループの再生 DVD-A

暗証番号の入力により再生可能になる「ボーナスグループ」を収録したディスク (ディスクのジャケットなどもご参照ください)

- 1 停止中、ボーナスグループを選ぶ (上記手順 1、2)
- 2 暗証番号 (4ケタ) を数字ボタンで入力する
 - [CANCEL] で入力した数字を消すことができます。
- 3 [ENTER] を押す
- 4 数字ボタンで曲を選び、[ENTER] を押す (再生が始まります)

お知らせ

- ディスクによっては、暗証番号を承認するためのメニューを表示する場合があります。その場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 電源を切るかトレイを開けると、再び暗証番号の入力が必要になる場合があります。

静止面を選ぶ (ページスキップ)

DVD-A (静止画付)

再生中または一時停止中

押すたびにページが切り換わります

音楽を純粋に楽しむ (ビデオオフ)

DVD-A DVD-V VCD CD MP3 WMA

映像信号の出力を止め、音声信号のみを出力することで高音質な音声が楽しめます。

再生中

VIDEO OFF ランプが点灯し、映像信号の出力が止まります。(もういちど押すと映像信号が出力され、ランプが消灯します。)

お知らせ

- 電源を切るとビデオオフ機能は解除されます。
- 再生を止めたり、操作 (早送りなど) を行うと、映像信号が出力されます。
- 映像信号の出力が止まっているときは、テレビ画面が乱れることがあります。

好みの2点間を繰り返し再生する (A-B リPEAT再生)

DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

(再生時間が表示されるときのみ)

同一タイトル/トラック内で、お好みの2点間を繰り返し再生します。

1 再生中 **始点 (A点) を指定する**

2 **終点 (B点) を指定する**

お知らせ

- B点指定前に再生が終わると、その終点がB点になります。
- **DVD-V** A点やB点付近では字幕が正しく表示されないことがあります。

■ **A-B リPEAT再生を解除するには**
[A-B] を押して「**」を表示させる

繰り返し再生する (リピート再生)

DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

(再生時間が表示される時のみ)

再生中

リモコン



押すたびに再生方法が切り換わります。
例) DVD ビデオ



DVD-V チャプター/タイトル*/切

DVD-A WMA MP3 トラック/グループ*/切

VCD CD トラック/オール(ディスク全体)/切

*オールグループ/プログラム/ランダム再生時は“オール”と表示されます。

プレイバックコントロール付きビデオ CD の場合

- 1 [■] を押し、表示窓の“PBC”を消す
- 2 数字ボタンを押して曲を選び、再生を始める (P.11 ページ)
- 3 [REPEAT] を押す (上記)

お知らせ

DVD ビデオ、WMA、MP3 のディスク全体の繰り返し再生は選べません。

好みのトラック/チャプターを繰り返し再生する

DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

トラック/チャプターをプログラム再生 (P.11 右記) 中に“オール”を選ぶ

順不同に再生する (ランダム再生)

DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

1 停止中

例) DVD ビデオ

リモコン



2 DVD-A DVD-V

数字ボタンでグループ
またはタイトルを選ぶ

DVD-A

- 複数のグループが選べます。
- すべてのグループを選ぶには
[◀、▶] で“オール”を選び [ENTER] を押す
- 選んだグループを取り消すには
数字ボタンで取り消すグループの番号を押す

3 ランダム再生を始める

お知らせ

- DVD-A ボーナスクラップグループを選んだときは、暗証番号 (4ケタ) を入力してください。(P.16 ページ)
- DVD-V ランダム再生できないタイトル/チャプターもあります。

■ ランダム画面を消すには
停止中、[RANDOM] を押す

好みの順に再生する (プログラム再生)

DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3

準備

停止中



押すたびに

オールグループ (DVD-A) → プログラム
↑ 通常再生 ←

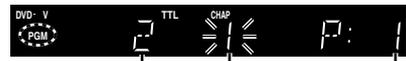
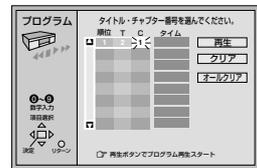
お知らせ

- DVD-A プログラムでボナスクラップグループを選んだときは、暗証番号 (4ケタ) を入力してください。(P.16 ページ)
- DVD-V プログラム再生できないものもあります。

(最大 32 トラック)

1 DVD-A DVD-V WMA MP3 例) DVD ビデオ

数字ボタンでグループ
またはタイトルを選ぶ



タイトル番号 チャプター番号 予約順

- 2ケタ番号の入力

例) 25 (≒10) ▶ (2) ▶ (5)

(WMA MP3) : (≒10) 不要

2 数字ボタンで

トラックまたはチャプターを選ぶ

- WMA MP3

- 選んだ後、[ENTER] を押す
- 2ケタ番号入力：(≒10) 不要
- 続けて選ぶときは、手順 1、2 を繰り返してください。
- DVD-V WMA MP3 : “タイム” は表示されません。

3 [▶] (再生) を押す

- DVD-V プログラム入力できても、再生できない場合があります。

■ カーソルボタンで選ぶには

[ENTER] を押して [▲、▼] で選び、[ENTER] で確定する
“ALL” を選ぶと全曲 (ディスクまたはタイトル、グループ内の全曲) が予約できます。

■ 予約を変更するには

- 1 [▲、▼] で変更したい項目を選ぶ
- 2 追加：上記手順 1、2 をくり返す
取消し：[CANCEL] を押す ([▲、▼、◀、▶] で “クリア” を選び、[ENTER] を押しでも取り消せません)

■ 予約を全て取り消すには

- [▲、▼、◀、▶] で “オールクリア” を選び [ENTER] を押す
- 予約内容は電源を切るかトレイを開けると取り消されます。

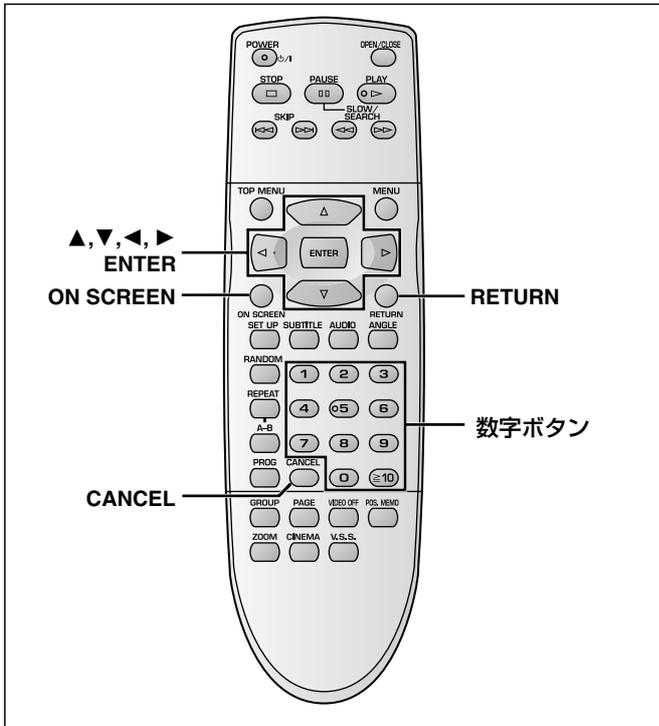
オールグループ再生 DVD-A

すべてのグループを順に再生できます。

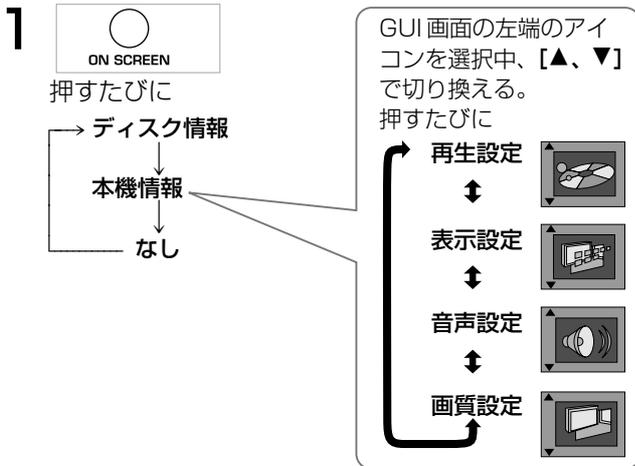
[▶] (再生) を押す

もっと

絵表示(GUI画面)を使って操作する



ジーユーアイ グラフィカル・ユーザー・インターフェース
G U I (Graphical User Interface) とは
 「画面を見ながら操作ができる」ことを意味し、本機ではこの画面を「GUI画面」と呼びます。



2 **変更したい項目を選ぶ**

3 **好みの設定を選ぶ**

- “▲” または “▼” 表示のあるアイコンではカーソルボタン[▲、▼]で設定が変更されます。
- カーソルボタン[▲、▼]を押しても設定が変更されない場合、[ENTER]を押すと変更されるものがあります。
- 設定項目の中には、上記以外の操作を必要とする項目があります。以下の説明をよくお読みください。

- 本機の再生状態（再生中や停止中など）やディスクによっては選択できなかったり、設定の変更ができない項目があります。
- タイトル番号など数字が表示されている項目では、**数字ボタン** → [ENTER]でも設定が変更されるものがあります。

GUI画面の位置を移動させる

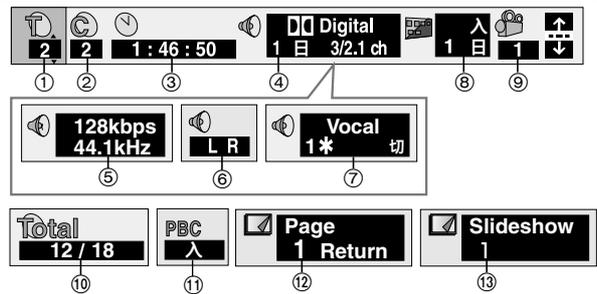
[◀、▶] で一番右のアイコンを選び、
 [▲、▼] で切り換える (5段階)



画面表示を消す

GUI画面が消えるまで、[RETURN]を押す

ディスク情報

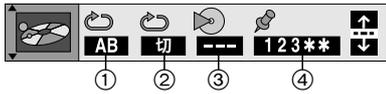


①	G : グループ番号 DVD-A WMA MP3 T : タイトル番号 DVD-V トラック番号 VCD CD	[▲、▼] ↓ [ENTER]
②	T : グループ内のトラック番号 DVD-A WMA MP3 C : チャプター番号 DVD-V	数字ボタン ↓ [ENTER]
③	時間指定再生 DVD-A DVD-V 例) 1時間46分50秒から再生 [1] → [4] → [6] → [5] → [0] → [ENTER]	数字ボタン ↓ [ENTER]
④	時間表示 DVD-A DVD-V VCD CD (WMA MP3 は経過時間のみ表示) → タイトル/トラックの経過時間 ↓ グループ(DVD-A) / ディスク(VCD CD) の残り時間 ↓ タイトル/トラックの残り時間	[▲、▼]
⑤	音声属性/音声番号/音声言語/チャンネル DVD-A DVD-V (☞ 15ページ「音声/字幕/アングルについて」)	変更不可
⑥	現在のビットレート (kbps) 現在のサンプリング周波数 (kHz) WMA MP3	変更不可
⑦	音声モード VCD (☞ 15ページ)	[▲、▼]
⑧	カラオケボーカル入/切 (カラオケ DVD-V のみ) ソロ : 切/入 デュエット : 切/V1 + V2/V1/V2 デュエットディスクで「V1」か「V2」を選ぶと、 ひとりでもデュエットできます。	[▲、▼]
⑨	字幕番号 DVD-A (動画部のみ) DVD-V (☞ 15ページ「音声/字幕/アングルについて」) 字幕入/切 DVD-A (動画部のみ) DVD-V トラック情報入/切 CD (CDテキストのみ) WMA MP3	[▲、▼]
⑩	アングル番号 DVD-A (動画部のみ) DVD-V (☞ 15ページ)	[▲、▼]
⑪	トータルトラック番号 WMA MP3	[▲、▼] ↓ [ENTER]
⑫	再生・選択中のトラック番号/ディスク内の総 トラック数を表示	[ENTER]
⑬	メニュー再生の入/切状態表示 (PBC付 VCD のみ)	変更不可
⑭	静止画番号 DVD-A (☞ 16ページ) ● Page 1 に戻る : [◀、▶] で “Return” を選ぶ → [ENTER] (“Return” 表示は変更できません。)	[▲、▼]
⑮	スライドショー状態表示 DVD-A	変更不可

本機情報

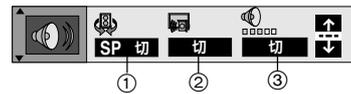
再生設定

例) DVDビデオ



音声設定

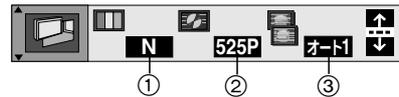
例) DVDビデオ



①	A-B リpeat再生 (16ページ) DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3 [ENTER]押す(開始位置)→[ENTER]押す(終了位置)→[ENTER]押す(A-B リpeat解除)	[ENTER]
②	リpeat再生 (17ページ) DVD-A WMA MP3 T:トラック/G:グループ/A*:オール/切:通常再生 C:チャプター/T:タイトル/A*:オール/切:通常再生 VCD CD T:トラック/A:オール/切:通常再生 ※オールグループ/プログラム/ランダム再生時 (17ページ)	[▲、▼]
③	再生モード DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3 --- :通常 PGM :プログラム RND :ランダム ALL :オールグループ DVD-A	変更不可
④	マーカー (5ヶ所) DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3 [ENTER]を押す(マーカーをつける準備ができます) ●マーカーをつける:再生中、マーカーをつけたいところで[ENTER]を押す ●マーカーを呼び出す:[◀、▶]→[ENTER] ●マーカーを消す:[◀、▶]→[CANCEL] ●プログラム/ランダム再生中は動きません。 ●マーカーは、電源を切るか、トレイを開けると取り消されます。	[◀ ▶] [ENTER] または [CANCEL]

①	アドバンスドサラウンド (VSS) (14ページ) DVD-V VCD	
②	ダイアログエンハンサー (14ページ) DVD-V	[▲、▼]
③	アッテネータ 入:音声がひずむとき 切 (工場出荷時設定)	

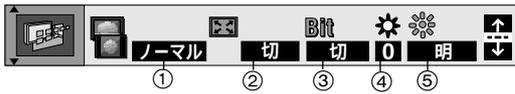
画質設定



①	画質モード DVD-A DVD-V VCD N : 通常画質 C1 : シネマ1 (映画館で見ていようようなしっとり感) C2 : シネマ2 (昔の映画などをくっきり) U1/U2/U3* : ユーザー画質 (下記) ※ "U3" は「ビデオ出力モード」(下記)が "525I" の時のみ表示されます。	
②	ビデオ出力モード DVD-A DVD-V VCD ●525I : インターレース映像 ●525P* : プログレッシブ映像 ※ "525P" は「プログレッシブ出力」(20ページ)が "可能" の時のみ選べます。	[▲、▼]
③	プログレッシブ出力のときのみ表示 変換モード DVD-A DVD-V VCD プログレッシブ変換する方式を素材に応じて選ぶ ●オート1 (標準) : 映画再生 ●オート2 : オート1の変換方法に加え、30コマ/秒で記録されたプログレッシブ映像にも対応 ●ビデオ : ビデオ素材	

表示設定

例) DVDビデオ



①	4:3 アスペクト DVD-A DVD-V 16:9 プログレッシブテレビへの4:3映像の表示のしかたを選ぶ。 ●ノーマル:テレビの画面幅いっぱい引き延ばす ●オート:通常は「シュリンク」に、レターボックスの映像は「ズーム」に、自動的に切り換える ●シュリンク:テレビ画面中央に4:3の画面比にして映す ●ズーム:4:3の画面比で拡大する 画質調整機能の付いたテレビをお使いの場合、テレビ側でも切り換えてみてください。	[▲、▼]
②	4:3 TVズーム (15ページ) DVD-A (動画部のみ) DVD-V	
③	ビットレート表示「入」「切」 DVD-A (動画部のみ) DVD-V VCD 映像の種類とビットレートの目安を表示する ビットレート表示を切り換える 動画再生時:再生画像の平均ビットレート 静止時:映像の種類とフレームのデータ量 9.438 Mbps ↔ 7.507 Mbps Ave. 6.730 Mbps 現在のビットレート サンプリング期間中平均ビットレート ビットレート履歴	[◀ ▶]
④	OSD明るさ (-3 ~ +3) 画面表示の明るさを調節	
⑤	FLディマー 本体表示窓の明るさを調節する 明 ← オート DVD-A DVD-V VCD → 暗 ※再生中には暗くなり、本体のランプ類も消灯します。一時停止などの操作をすると、一時的に明るくなり、ランプ類も点灯します。	[▲、▼]

ユーザー画質

1 [▲、▼]でユーザー画質モードを選ぶ
2 [▶]で数字をハイライトさせる
3 [▲、▼]で数字を選ぶ

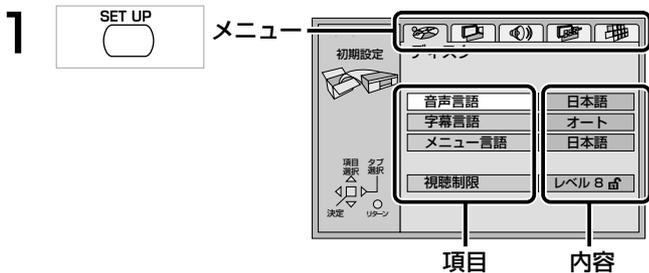
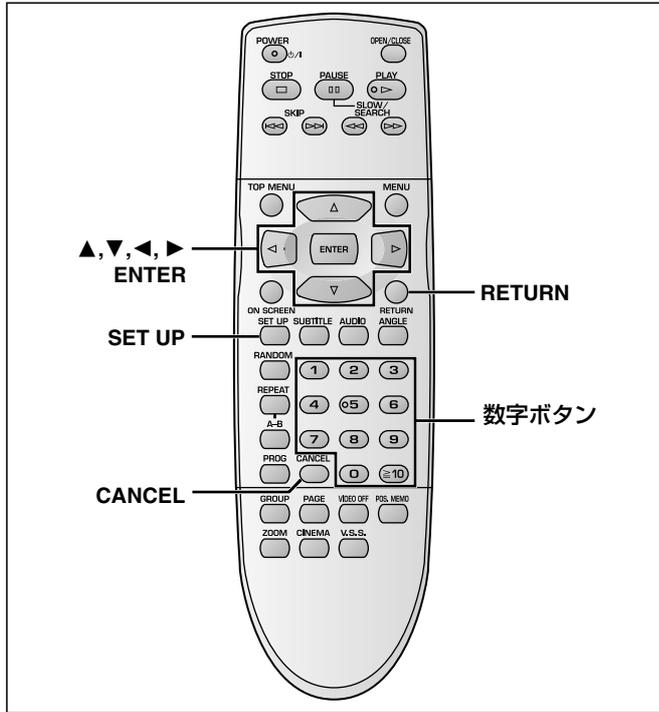
プログレッシブ出力のとき
U1
U2
U3

プログレッシブ出力でないとき
U1
U2

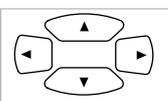
④	3次元NR(0 ~ +4)/ドットNR(On) 画面全体のノイズを除去/色と色の境界にみられるドット状のノイズを軽減	
⑤	ブロックNR (0 ~ +3) 動画にみられるモザイク状のノイズを除去	[▲、▼]
⑥	モスキートNR (0 ~ +3) 周囲とのコントラストがはっきりした部分に見える、もやのようなノイズを除去	
⑦	コントラスト (-7 ~ +7) 白黒の強弱	
⑧	明るさ (0 ~ +15) 画面全体の明るさ	
⑨	カラー (-7 ~ +7) 色の濃さ	

初期設定を変更する

視聴環境や好みに応じて設定を変更してください。設定は、電源を切っても次に変更するまで保持されます。



お買い上げ後初めて[SET UP]を押すと、クイックセットアップ画面が表示されます。(P.8 ページ)

- 1  **メニュー**
- 2  **メニューを選ぶ**
メニューに応じた画面に切り換わります。
- 3  **変更したい項目を選び [ENTER]を押す**
- 4  **内容を選び [ENTER]を押す**
メニュー画面に戻ります。

■ **ひとつ前の画面に戻る**
[RETURN]を押す

■ **設定を終了する**
[SET UP]を押す

日本語のようにアミがかかった項目は、工場出荷時の設定です。

ディスク

■ 音声言語

言語（音声）の選択

- 日本語 ● 英語 ● オリジナル^{*1} ● その他^{** ** *}^{*2}

■ 字幕言語

言語（字幕）の選択

- オート^{*3} ● 日本語 ● 英語 ● その他^{** ** *}^{*2}

■ メニュー言語

メニューなど、テレビ画面に表示される言語の選択

- 日本語 ● 英語 ● その他^{** ** *}^{*2}

■ 視聴制限

お子さまなどに見せたくないDVDビデオの視聴を制限
暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。

- レベル8 : すべてのディスクが再生可
- レベル7～1 : 制限レベルの記録されているディスクが再生不可
- レベル0 : すべてのディスクが再生不可
レベル0から7を選ぶ、または選んだあと再び“視聴制限”の項目を選ぶと、暗証番号の入力画面が表示されます。

視聴制限の変更（レベル0～7 選択時）

- ロック解除 ● 暗証番号変更
- レベル変更 ● 一時解除

暗証番号の入力方法

- 1 数字ボタンで4ケタの数字を入力する
 - [CANCEL]を押すと、数字を取り消すことができます。
- 2 [ENTER]を押す
 - 閉じた鍵マークが表示されます。
- 3 暗証番号を確認し、[ENTER]を押す
暗証番号は忘れないでください。
 - 視聴制限を超えるDVDビデオを入れると、画面上に表示が出ます。そのときは画面の指示に従ってください。

*1 “オリジナル” : ディスクの最優先言語が選ばれます。
*2 “その他^{** ** *}” : 数字ボタンで言語番号を入力します。(P.23 ページ「言語番号一覧表」)
*3 “オート” : “音声言語” で選んだ言語が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

映像

■ TV アスペクト

テレビサイズに合った画面表示方法の選択 (P.8 ページ)

- 4 : 3 パン&スキャン
- 4 : 3 レターボックス
- 16 : 9

■ プログレッシブ出力 (P.8 ページ)

- 不可 : プログレッシブ非対応テレビ
- 可能 : プログレッシブ対応テレビ

■ スチルモード

一時停止時の画像表示方法の選択

- (P.24 ページ「フレーム/フィールド」)
- オート ● フィールド ● フレーム

音声

デジタル：デジタル接続時（6 ページ）に設定

アナログ：アナログ接続時（6 ページ）に設定

■ スピーカー設定 **アナログ**

スピーカーの出力設定により、理想的な音空間をつくる

● マルチチャンネル

スピーカーを3本以上接続

スピーカーの有無やサイズ、ディレイタイム、出力バランスの設定をしてください。（22 ページ）

● 2チャンネル

スピーカーを2本接続、またはドルビープロロジックデコーダーに接続

■ デジタル出力 **DVD-A DVD-V**

デジタル出力の入／切を選択

● **入**：デジタル出力する

● **切**：デジタル出力しない

■ PCM ダウンサンプリング変換 **デジタル**

DVD-A DVD-V

96 kHz または 88.2 kHz 音声の再生方法を設定
接続機器が 96 kHz または 88.2 kHz に対応していないときは、「**する**」を選んでください。

● **しない**：96 kHz または 88.2 kHz で出力

● **する**：48 kHz または 44.1 kHz に変換して出力

● 以下の場合は設定にかかわらず 44.1 kHz または 48 kHz にダウンサンプリング変換します。

— サンプル周波数が 96 kHz をこえるとき

— ディスクが著作権保護されているとき

● 96 kHz に対応している接続機器でも、88.2 kHz に対応していないことがあります。（詳細は接続機器の取扱説明書をご参照ください。）

■ Dolby Digital **デジタル** **DVD-A DVD-V**

接続機器がデコーダー内蔵かどうかに応じて、信号の出力状態を設定

● **Bitstream**：デコーダー内蔵

● **PCM**：デコーダーなし

■ DTS Digital Surround **デジタル** **DVD-A DVD-V**

DTS 信号に対して上記と同様の設定

● **PCM**：デコーダーなし

● **Bitstream**：デコーダー内蔵

■ 音声のダイナミックレンジ圧縮 **デジタル** **アナログ**

（ドルビーデジタルのみ）

小音量でもセリフを聞き取りやすくする

● **切** ● **入**

■ 早送り時の音声 **デジタル** **アナログ**

早送り時の音声のあり／なしを選択

● **あり** ● **なし**

● **DVD-A** 「なし」にしても音声聞こえるものがあります。

● DTS-CD では働きません。



画面表示

■ 画面メニュー言語

初期設定画面の言語や、操作時にテレビ画面に表示される言語の選択

● **日本語** ● **English**（英語）

■ 画面メッセージ

操作時の表示をテレビ画面に表示する／しないの選択

● **入** ● **切**



その他

■ DVD ビデオモード

（DVD ビデオとして再生できる DVD オーディオディスク）

DVD オーディオに収録された映像の再生方法の選択
（電源を切るかトレイを開けると「**しない**」に戻ります。）

● **しない**：ディスクを DVD オーディオとして再生

● **する**：ディスクを DVD ビデオとして再生

■ デモモード

テレビ画面上でのデモンストレーション表示

（いずれかのボタンを押すと停止し「**しない**」に戻ります。）

● **しない** ● **する**

■ クイックセットアップ 8 ページ

本機の基本的な設定を、画面上での対話形式で行う

● **する** ● **しない**

以下の設定を行います。

画面メニュー言語／音声言語／字幕言語／

TV アスペクト／プログレッシブ出力／スピーカー設定

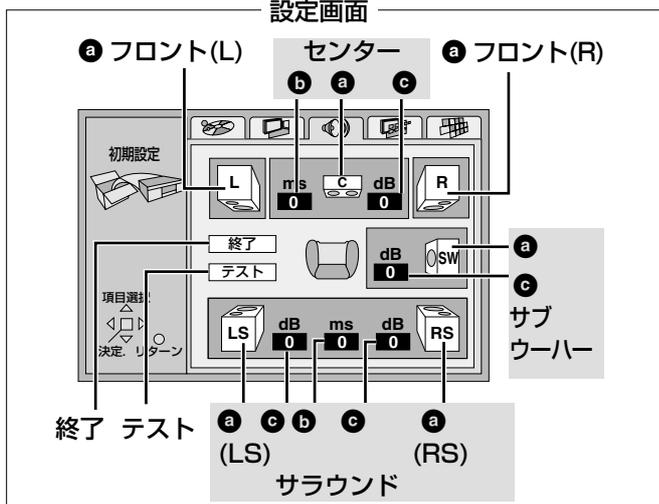
初期設定を変更する(つづき)

スピーカー設定

初期設定“スピーカー設定”で“マルチチャンネル”(スピーカーを3本以上接続)を選んだとき、接続したスピーカーに応じて、以下の**a****b****c**の設定が必要になります。

お知らせ

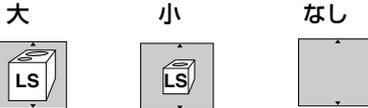
スピーカー設定は、アナログ接続時(6ページB)のみ働きます。



スピーカーの有無とサイズ (a)

- 1 [▲、▼、◀、▶]で項目を選び、[ENTER]を押す
- 2 [▲、▼]で内容を変更し、[ENTER]を押す

サラウンド (LS) の場合の表示例



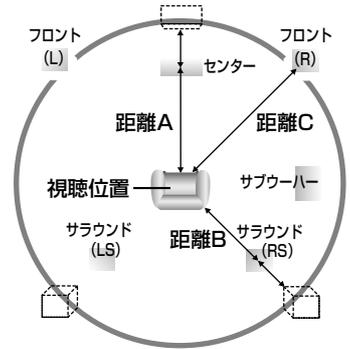
スピーカーが 100 Hz 以下の低音を

- 再生できるとき : 大
- 再生できないとき : 小

サブウーハーを「なし」にすると、フロントスピーカーは自動的に「大」になります。(この場合、100 Hz 以下の低音を再生できるフロントスピーカーを接続することをおすすめします。)

ディレイタイム (b)

DVD-V(ドルビーデジタル、センターとサラウンドスピーカーのみ)
5.1ch 音声を楽しむには、すべてのスピーカー(サブウーハーは除く)を下記のように視聴位置から等距離のところに設置することをおすすめします。置けない場合は、ディレイタイムの設定をすると音声出力に遅延効果を与え、仮想的に理想の視聴位置を実現します。



- 1 [▲、▼、◀、▶]で項目を選び、[ENTER]を押す
- 2 [▲、▼]で内容を変更し、[ENTER]を押す

<センター>

距離 A ≧ 距離 C: 0 ms
(工場出荷時)
距離 A < 距離 C: 下記の
設定を行う

<サラウンド>

距離 B ≧ 距離 C: 0 ms
(工場出荷時)
距離 B < 距離 C: 下記の
設定を行う

距離 C と A の差	設定値
約 50 cm	1.3 ms
約 100 cm	2.6 ms
約 150 cm	3.9 ms
約 200 cm	5.3 ms

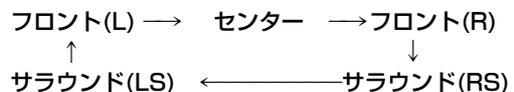
距離 C と B の差	設定値
約 200 cm	5.3 ms
約 400 cm	10.6 ms
約 600 cm	15.9 ms

出力バランス (c)

各スピーカーの音量レベルが異なるとき調節します。

- 1 [▲、▼、◀、▶]で“テスト”を選び、[ENTER]を押す

「ザー」というテスト音が以下の順でスピーカーから出力されます。



- 2 調整したいスピーカーからテスト音が出力されている間に [▲、▼]でセンター(C)およびサラウンドスピーカー(LS/RS)の音量を調節する(-6 dB ~ +6 dB)

フロントスピーカーと同じ音量で聞こえるように調節します。

- フロントスピーカーの音量調節はできません。
- サブウーハーからはテスト音が出力されません。ディスクを再生し、音量を確認してから調節してください。

- 3 [ENTER]を押す

テスト音が止まります。

- マルチチャンネルのDVD オーディオディスク再生時、ディスクの制約により設定通りに音が出ないことがあります。(本体表示窓で“D.MIX”が消灯状態になります。)

設定を終了する

[▲、▼、◀、▶]で“終了”を選び、[ENTER]を押す

言語番号一覧表

アイスランド : 7383	グルジア : 7565	バシキール : 6665
アイマラ : 6588	ケチュア : 8185	バスク : 6985
アイルランド : 7165	ゲール : 8185	バシウト : 8083
アゼルバイジャン : 6590	(スコットランド)	パンジャブ : 8065
アッサム : 6583	コーサ : 7168	ヒンディー : 7273
アフガル : 6565	コーサ : 8872	ビハール : 6672
アフリカーンス : 6570	コルシカ : 6779	ビルマ : 7789
アブハジア : 6566	サモア : 8377	フィジー : 7074
アムハラ : 6577	サンスクリット : 8365	フィンランド : 7073
アラビア : 6582	フェロー : 8365	フェロー : 7079
アルバニア : 8381	ショナ : 8378	フランス : 7082
アルメニア : 7289	シンド : 8368	フリジア : 7089
イタリア : 7384	シンハラ : 8373	ブータン : 6890
イディッシュ : 7473	ジャワ : 7487	ブルガリア : 6671
インターリングア : 7365	スウェーデン : 8386	ブルターニュ : 6682
インドネシア : 7378	スロバキア : 8375	ヘブライ : 7387
ウェールズ : 6789	スロベニア : 8376	ベトナム : 8673
ウォロフ : 8779	スワヒリ : 8387	ベロルシア (白ロシア) : 6669
ヴォラピュック : 8679	スダ : 8385	ベンガル (バングラ) : 6678
ウクライナ : 8575	スペイン : 6983	ベルシャ : 7065
ウズベク : 8590	ズルー : 9085	ポーランド : 8076
ウルドゥー : 8582	セルビア : 8382	ポルトガル : 8084
英語 : 6978	セルボクロアチア : 8372	マオリ : 7773
エストニア : 6984	ソマリ : 8379	マケドニア : 7775
エスペラント : 6979	タイ : 8472	マライ (マレー) : 7783
オーリヤ : 7982	タガログ : 8476	マラッタ : 7782
オランダ : 7876	タジク : 8471	マラヤーラム : 7776
カザフ : 7575	チェコ : 6783	マルタ : 7784
カシミール : 7583	中国語 : 9072	マダガスカル : 7771
カタロニア : 6765	チベット : 6679	モルダビア : 7779
ガリチア : 7176	ティグリニア : 8473	モンゴル : 7778
韓国 (朝鮮) 語 : 7579	テルグ : 8469	ヨルバ : 8979
カンナダ : 7578	デンマーク : 6865	ラオ : 7679
カンボジア : 7577	トウイ : 8487	ラテン : 7665
キルギス : 7589	トルクメン : 8475	ラトビア (レット) : 7686
ギリシャ : 6976	トルコ : 8482	リトアニア : 7684
クルド : 7585	トンガ : 8479	リンガラ : 7678
クロアチア : 7282	ドイツ : 6869	ルーマニア : 8279
グアラニー : 7178	ナウル : 7865	レトロマンス : 8277
グジャラト : 7185	日本語 : 7465	ロシア : 8285
グリーンランド : 7576	ネパール : 7869	
	ノルウェー : 7879	
	ハウサ : 7265	
	ハンガリー : 7285	

お手入れ・使用上のお願い

お手入れ

■本体が汚れたら

柔らかい布でふいてください。

ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤 (中性) を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

お知らせ

- 使用環境により異なりますがレンズのクリーニングは必要ありません。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

ディスクについて

■汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。

- 布やCD用クリーナーなどは絶対に使わないでください。

再生面 (光っている面)

内側から外側へ



■露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

■保管

次のような場所に置かないでください

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

主な仕様

許容周囲温度 +5～35℃
許容相対湿度 5～90% RH (結露なきこと)
再生可能ディスク (8 cm, 12 cm)

- DVD-Audio ●DVD-Video
 - DVD+RW/R ●DVD-R/RW (DVDビデオ規格準拠)
 - CD-Audio (CD-DA) ●ビデオCD
 - CD-R/RW (CD-DA、ビデオCDフォーマットのディスク)
 - MP3/WMA
- 再生可能な最大トラック数：999トラック
再生可能な最大グループ数：99グループ
ビットレート：32 kbps～320 kbps(MP3)
：48 kbps～192 kbps(WMA)

信号形式 NTSC

映像出力

出力レベル：1 Vp-p (75 Ω)
出力端子：ピンジャック
端子数：1系統

S映像出力

Y出力レベル：1 Vp-p (75 Ω)
C出力レベル：0.286 Vp-p (75 Ω)
出力端子：S端子
端子数：1系統

コンポーネント映像出力 (525p/525i)

Y出力レベル：1 Vp-p (75 Ω)
P_B/C_B出力レベル：0.7 Vp-p (75 Ω)
P_R/C_R出力レベル：0.7 Vp-p (75 Ω)
出力端子：ピンジャック
(Y:緑、P_B/C_B:青、P_R/C_R:赤)
端子数：1系統

D1/D2映像出力

Y出力レベル：1 Vp-p (75 Ω)
C_B出力レベル：0.7 Vp-p (75 Ω)
C_R出力レベル：0.7 Vp-p (75 Ω)
出力端子：D端子
端子数：1系統

音声出力

出力レベル：2 Vrms (1 kHz, 0 dB)
出力端子：ピンジャック
端子数：2ch出力：1系統
5.1ch出力：1系統

音声出力特性

周波数特性

- DVD (リニア音声)：
2 Hz～22 kHz (48 kHz サンプリング)
2 Hz～44 kHz (96 kHz サンプリング)
- DVD オーディオ：
2 Hz～88 kHz (192 kHz サンプリング)

●CD：2 Hz～20 kHz (JEITA)

S/N比 ●CD 115 dB (JEITA)

ダイナミックレンジ

- DVD (リニア音声)：102 dB
- CD：98 dB (JEITA)

全高調波歪率

- CD：0.0025% (JEITA)

デジタル音声出力

光デジタル出力：光コネクタ
同軸デジタル出力：ピンジャック

電源 AC 100 V 50/60 Hz

消費電力 11 W (待機時消費電力 約 1.5 W)

外形寸法 435 (幅)×258 (奥行)×60 (高さ) mm
(突起物を含まず)

質量 約 3.3 kg

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

用語解説

インターレース出力/プログレッシブ出力

従来の映像信号 (NTSC) は 525I (I：インターレース=飛び越し走査) といわれるのに対し、その 525I 信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を 525P (P：プログレッシブ=順次走査) といいます。

MP3 (MPEG Audio Layer 3)

元の音質をあまり損なうことなく音声を 10 分の 1 程度に圧縮する技術です。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

DTS (Digital Theater Systems)

多くの映画館で採用されている最大 5.1 ch のサラウンドシステムです。情報量が多いので、リアルな音響効果が得られます。

デコーダー

ドルビーデジタルや DTS のビットストリーム信号を 5.1 ch などの音声に戻す装置。この処理をデコードといいます。

ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ (2ch) はもちろん、最大 5.1 ch のサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

ドルビープロロジック

4 チャンネル信号を 2 チャンネルに記録し、デコーダーにより、再び 4 チャンネルの独立した信号を再生するサラウンドシステムです。

ビットストリーム Bitstream

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。デコーダーを使うことで、5.1 ch などのマルチチャンネル音声を楽しむことができます。

フレーム/フィールド

フレームとは、テレビの 1 枚の画面のことです。1 フレームはフィールドと呼ばれる 2 枚の画面からなっています。



- フレームスチルのときは、画質は良くなりますが、2 枚のフィールドの間でブレを生じることがあります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

リニア PCM (LPCM)

圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。

著作権

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

この製品は米国 DTS 社からの実施権に基づき製造されています。合衆国特許 No.5,451,942、5,956,674、5,974,380、5,978,762。海外特許申請中。「DTS」および「DTS デジタルサラウンド」は DTS 社の登録商標です。

著作権 1996 年、2000 年 DTS 社。不許複製。

一部プログレッシブ (525p) 入力対応のテレビ (モニター) は本機と完全な互換がとれていないため、プログレッシブ再生時に画像に乱れが生じる場合があります。その場合には、プログレッシブ機能をオフにして再生するか、本機と互換がある機器をご使用ください。

なお、本機と互換があるヤマハの機器は下記のとおりです。

DPX-1、LPX-500、DPX-1000

互換性についてご質問のある場合は当社のお客様ご相談センター (0570-01-1808) へお問い合わせください。

もし

著作権／Q&A (よくあるご質問)

25

Q & A (よくあるご質問)

	Q (質問)	A (回答)	参照ページ
接続／設置／メンテナンス	ドルビーデジタルや DTS の 5.1ch サラウンド音声を楽しみたいが、どのような機器が必要か	本機にはドルビーデジタル／DTS デコーダーが内蔵されていますので、AV アンプ (5.1ch 音声入力端子付) と 3 本以上のスピーカーを準備すれば、マルチチャンネル音声をお楽しみになれます。	6
	ハイビジョンテレビに接続できるのか	接続できます。より良い映像のために、DVD 対応のコンポーネント映像端子に接続することをおすすめします。ハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ端子には接続しないでください。	7
	S 映像端子、コンポーネントビデオ端子、D 端子すべてがあるテレビの場合、どれに接続したらいいのか	コンポーネント映像端子または D 端子に接続すると、DVD に記録されたままの状態で信号を出力するため、S 映像端子に接続した場合より、さらに忠実に色を再現します。	7
	LD と接続できるか	本機には接続できません。	—
	引っ越しても使えるか	東日本、西日本に関係なく使えます。	—
	海外でも使えるか	本機は日本国内専用です。海外では電源電圧などが異なるため使用できません。	—
使いたかったら	海外で買った DVD ビデオは再生できるか	リージョン番号が「2」を含むか「ALL」で、映像方式が NTSC であれば再生できます。ディスクのジャケットをご確認ください。	2
	リージョン番号がない DVD ビデオは再生できるか	リージョン番号がないディスクは再生できないことがあります。	—
	ビデオで録画できるか	ほとんどの DVD はコピー禁止処理がされており、録画できません。	—

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
電源	電源が入らない	電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。	7
	勝手に電源が切れる	停止状態で約30分経過すると、節電のため、電源が自動的にスタンバイ状態になります。(オートパワーオフ) 再度電源を入れ直してください。	—
操作	各ボタン操作ができない	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。	—
		落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。電源を一度、「切」「入」してください。	—
	リモコンが働かない	乾電池は、+-を確かめて正しく入れ、消耗している場合は、新しいものに交換してください。	5
		リモコン受信部に向けて正しく操作してください。	5
	【▶】(再生)を押しても、再生が始まらない(または、すぐに停止する)	寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。1~2時間放置してください。	—
		本機で再生できるディスクかどうか確認してください。	2
		ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。	23
		ディスクを正しくセットしてください。	10
		初期設定「視聴制限」の設定を確認してください。	20
	音声/字幕言語が切り換えられない	複数の言語が入っていないディスクでは切り換えできません。	—
		本機の【AUDIO】【SUBTITLE】ボタンでは切り換えできないディスクでも、ディスクのメニュー画面等で切り換えできる場合があります。	—
	字幕が出ない	字幕の入っていないディスクでは字幕が表示されません。	—
		字幕が「切」になっている場合は、字幕を「入」にしてください。	15
A-Bリピート再生のA点、B点や、マーカーでマークを付けた箇所の前後では、字幕が表示されないことがあります。		—	
アングルを変えて見ることができない	複数のアングルが記録されている場面でのみ切り換えることができます。	—	
視聴制限で設定した暗証番号を忘れた	以下の操作で初期設定の内容を工場出荷時に戻してください。 1 停止中、本体の【III】と【◀▶】を押しながら、テレビ画面の「オールクリア」が消えるまで、本体の【▲】を押す 2 本体の電源を一度「切」「入」する	—	
すべての設定を、工場出荷時に戻したい			
PROGRESSIVE ONランプが点灯しない	初期設定の「映像」で「プログレッシブ出力」を「可能」にしてください。	20	
表示	画面メッセージが出ない	「画面メッセージ」を「入」にしてください。	21
	GUI画面が欠ける(または表示されない)	GUI画面表示中、カーソルボタン【◀▶】を押して右側の矢印アイコンを選び、【▲▼】を押して上下に移動させてください。	18
	ディスクメニューが好みの言語で表示されない	初期設定の「ディスク」で「メニュー言語」を設定してください。	20
音声	音が出ない	接続した機器の音量を確認してください。	—
		接続、設定を確認してください。	6, 7, 21, 22
		接続した機器の入力切り換えは正しいですか?	—
		音声がひずむ場合は、アドバンスドサラウンドを「切」にしてください。	14
		GUIの音声設定で「アッテネータ」を「入」にしてください。	19
		3本以上のスピーカーをつないでいるときは、アドバンスドサラウンドを「切」にしてください。	14
		ビデオオフが働いている時は、テレビによっては映像が映らなくなるだけでなく、音も出なくなる場合があります。	16

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
音声について	音声が出ない	マルチチャンネルのDVD オーディオディスク再生時に、本体表示窓の“D. MIX”表示が消灯するときは、ディスク側が指定したスピーカー接続でないと正常に再生できません。ディスクのジャケットなどもご覧ください。	—
		WMAの再生中に雑音が生じることがあります。	—
	耳を刺激するような音が出る	他の機器とデジタル接続しているときは、“Dolby Digital”や“DTS Digital Surround”を正しく設定してください。	21
	音声効果が働かない	アドバンスドサラウンドとダイアログエンハンサーはBitstream信号には動きません。	21
映像について	早送り／早戻しをしたら画像が乱れる	多少乱れることがありますが、故障ではありません。	—
	ビデオオフを「切」にすると一瞬画面が揺れる		
	テレビに映像が映らない（または画面サイズがおかしい）	接続を確認してください。	7
		テレビの電源は入っていますか？	—
		テレビの入力切換は正しいですか？	—
		“TVアスペクト”は正しく設定されていますか？	8
		テレビ側の画面モードを変更してください。	—
		“4:3アスペクト”で表示サイズを調整してください。ただし、PAL方式のDVDオーディオでは動きません。	19
		本機のコピーガードシステムに対応したテレビのコンポーネント映像入力端子に接続してください。プログレッシブ入力に対応していないテレビでは、本機のプログレッシブ映像は楽しめません。	7
		本機からの映像は、ビデオテープレコーダーを経由させて出力しないでください。	7
プログレッシブ出力(525P)時、映像の一部が二重にぶれて見える	[PROGRESSIVE ON]を押してプログレッシブ出力ランプを消灯させてください。映像ソフトそのものの編集方法や素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力では問題なく再生できます。	10	
画質がよくないまたは色がおかしい	GUIの画質設定で画質を調節してください。	19	
メニュー画面が正しく表示されない	4:3TVズームが「入」になっています。4:3TVズームを「切」にしてください。	15	
	“4:3アスペクト”を“ノーマル”にしてください。	19	
エラーメッセージ(表示窓)	“NoPLAY”	再生できないディスクが入っています。	2
		“視聴制限”を設定したディスクが入っています。	20
	“CHECK”	ディスクが汚れています。きれいに拭いてください。	23
	“H□□” (□□は数字)	異常が発生しました。(“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります。)電源を一度、「切」「入」してください。	—
“NoDISC”	ディスクが入っていません。	—	
	ディスクが正しく入っていません。	—	
画面	“ディスクを確認してください”	ディスクがよごれています。	23
	“プログレッシブ出力が不可になっています”	プログレッシブ出力をするには、プログレッシブ対応テレビと接続し、初期設定“プログレッシブ出力”を“可能”に設定してください。	8

■ 処置をされても表示が消えないときは

お買い上げの販売店またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点（裏表紙）に修理をご依頼ください。その場合、画面や表示窓の文字をお知らせください。(例：“H01”の場合、「H01」)

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

● 保証期間

お買上げ日より1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み

- ◆ **技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- ◆ **部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- ◆ **出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

● 製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

※ 品番、製造番号はAV製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

■ ヤマハAV製品の機能や取扱いに関するお問い合わせは

お客様ご相談センター

TEL (0570) 01 - 1808 (ナビダイヤル)

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。

TEL (053) 460 - 3409

FAX (053) 460 - 2777

住所 〒430-8650

静岡県浜松市中沢町10-1

ご相談受付時間 10:00~12:00, 13:00~18:00

(日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

■ ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせは

(ヤマハ電気音響製品サービス拠点)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236 - 0249

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1番1号
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
TEL (03) 5762 - 2121

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株) 和田工場内
TEL (053) 465 - 6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株) 名古屋流通センター3F
TEL (052) 652 - 2230

大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株) 千里丘センター内
TEL (06) 6877 - 5262

四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7
(株) ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822 - 3045

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

愛情点検



★永年ご使用のAV製品の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ
<http://www.yamaha.co.jp/audio/>



ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

Printed in Japan



RQT6919-S